

- 問1 中部地方は日本の製造品出荷額の多くを占めていますが、その中心的な要因となっている中京工業地帯の産業的特徴について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 古くから繊維工業や化学工業が発達し、中小規模の工場から大工場まで幅広く存在する。 | 2. 自動車産業などの機械工業が高度に集積し、輸送用機械の割合が非常に高い。 | 3. 巨大な消費地である東京周辺を背景に、印刷業や食料品工業が発達している。 | 4. 八幡製鉄所の設立以来、北九州を中心に鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が地域を支えている。 |
|---|--|--|---|
- 問2 中部地方における農業の統計において、農業産出額に占める「米」の割合が58.7%と極めて高く、広大な平野を活用した稲作が産業の大きな柱となっている県はどこですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長野県 | 2. 岐阜県 | 3. 新潟県 | 4. 愛知県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 日本の茶の主産地では、4月上旬頃の気象条件に合わせて「防霜ファン」を稼働させることがあります。この設備が稼働する背景となる自然現象と、その仕組みについて説明した文として正しいものを選びなさい。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 梅雨時期の高温多湿な環境で発生する病原菌を抑えるため、風を送り続けて茶の葉の表面を乾燥させる。 | 2. 春先に発生しやすい濃霧が日照を妨げるため、扇風機の風で霧を散らして茶の芽の成長を促進させる。 | 3. 夏場の強い日差しによる土壌の乾燥を防ぐため、風を送ることで地中の水分を効率よく吸い上げさせる。 | 4. 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。 |
|--|---|--|---|
- 問4 日本の農産物の生産統計において、茶の生産量が第2位の鹿児島県、第3位の三重県を抑えて全国第1位（2019年時点）となっている県名と、その県で大規模な茶園が営まれている代表的な台地の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2022年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|-----------------|--------------|
| 1. 京都府 ― 宇治 | 2. 福岡県 ― 八女 | 3. 鹿児島県 ― シラス台地 | 4. 静岡県 ― 牧之原 |
|-------------|-------------|-----------------|--------------|
- 問5 富山県を含む北陸地方では、かつてアルミニウム工業が盛んに発達しました。アルミニウムの製錬には極めて大量の電力を必要とすることを踏まえ、この地域に産業が集積した理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|---|
| 1. 広大な平野部を利用して大規模な太陽光発電が行われ、電力を自給できたため | 2. 急流河川を利用した水力発電によって、安価で豊富な電力が得られたため | 3. 大規模な火力発電所が建設され、海外から輸入した石炭を安く利用できたため | 4. 北陸新幹線の開通により、製品を消費地である首都圏へ高速輸送できるようになったため |
|--|--------------------------------------|--|---|
- 問6 2014年の工業統計において、愛知県と静岡県の製造品出荷額の内訳を確認すると、ある共通の工業部門が非常に高い割合を示しています。特に愛知県では県全体の出荷額の約半分を占めるこの工業部門の名称として、正しいものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------------|----------------|
| 1. 繊維工業 | 2. 金属製品製造業 | 3. 輸送用機械器具製造業 | 4. 電子部品・デバイス工業 |
|---------|------------|---------------|----------------|
- 問7 静岡県の牧之原などの台地では、明治維新によって職を失った士族（旧幕臣）や川越人足らによって大規模な土地の開墾が行われ、現在の日本を代表する農業景観が形成されました。この地域で行われている農業の背景と特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 温暖な気候を利用して、ビニールハウスを用いたメロンの促成栽培が行われた。 | 2. 水はけの良い台地の特性を活かし、輸出用や国内消費用の茶の生産が拡大した。 | 3. 平坦な低地を活かして大規模な水田が整備され、稲作の機械化が進んだ。 | 4. 都市部への出荷を目的とした、キャベツなどの近郊農業が中心となった。 |
|---|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問8 日本海に面した上越市では、1月の降水量が400mmを超えるなど、夏よりも冬に降水量が多くなる「日本海側の気候」がみられます。冬にこのような気象状況が発生する理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 内陸部で冷やされた空気が海へ向かって吹き降り、地表付近の気温が急激に下がるため | 2. 梅雨や台風の影響を強く受けることで、1月を中心に雨雲が発達しやすいため | 3. 太平洋から湿った空気を運ぶ南東の季節風が、日本海側に大量の雨をもたらすため | 4. 北西の季節風が日本海を渡る際に湿気を蓄え、山脈にぶつかって雪を降らせるため |
|--|--|--|--|
- 問9 北陸地方などの日本海側の地域では、冬の期間に織物などの伝統産業が発達した歴史があります。このように、冬場の室内で行う手仕事が産業として発展した気候的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 秋から冬にかけて大型の台風が頻繁に上陸し、農作物が大きな被害を受けるため、その対策として室内での作業が推奨された。 | 2. 冬に湿った北西の季節風の影響で大量の積雪があり、屋外での農作業が困難になったため、副業として家内工業が行われた。 | 3. 夏に「やませ」と呼ばれる冷たく湿った風が吹き、冷害によって農作物の収穫が不安定だったため、工業へ転換した。 | 4. 年間を通じて降水量が少なく、干害によって大規模な農業を行うことが難しかったため、水を使わない工芸品製作が盛んになった。 |
|--|---|--|--|
- 問10 2017年の中部地方における産業構造について、各県の就業者数や割合の傾向を説明した文として正しいものを選択してください。なお、愛知県は総就業者数が約407万人と中部地方で最多となっており、各県とも第3次産業の割合は60%から70%程度で推移しています。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 愛知県などの都市部だけでなく、中部地方の全県において第3次産業の割合が6割を超えており、林業などの第1次産業の就業者数を大きく上回っている。 | 2. 中部地方における第3次産業の就業者数合計は約300万人にとどまっており、依然として第2次産業の製造業に従事する人口が産業全体の過半数を占めている。 | 3. サービス業は林業と同じ第1次産業に分類されており、観光業が盛んな長野県や山梨県では、第1次産業の就業者割合が50%を超えている。 | 4. 富山県や福井県などの日本海側の県では、製造業を中心とした第2次産業の就業者数が、サービス業などの第3次産業の就業者数を上回っている。 |
|---|--|---|---|
- 問11 日本の地域構成において、中部地方（北陸地方）に属しながらも、地理的に近畿地方と隣接し、古くから京都などの近畿圏との経済・文化的な結びつきが強い県の名称として適切なものはどれか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 石川県 | 2. 新潟県 | 3. 福井県 | 4. 富山県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問12 人工林の面積が広い地域において、森林を健全に維持し、質の高い木材を生産するために行われる「間伐」の目的として最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|--------------------------------------|
| 1. 山の木をすべて一度に伐採し、大規模な宅地造成や耕作地の拡大を行うため | 2. 樹木の間隔を広げて日当たりを改善し、残った木が大きく成長するように促すため | 3. 苗木を植えたあとに周囲の雑草を刈り取り、苗木に栄養が行き渡るようにするため | 4. 山火事の延焼を防ぐために、森林の中に一定の幅の空白地帯を設けるため |
|---------------------------------------|--|--|--------------------------------------|